

経営比較分析表（平成29年度決算）

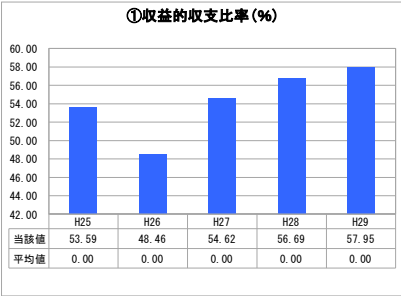
埼玉県 川越市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.69	100.00	2,829

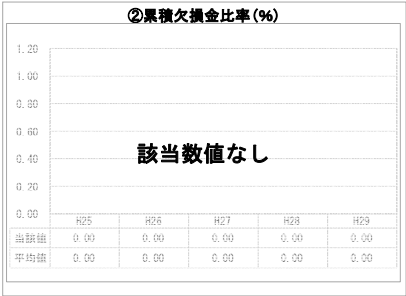
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
352,433	109.13	3,229.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,432	0.67	3,629.85

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



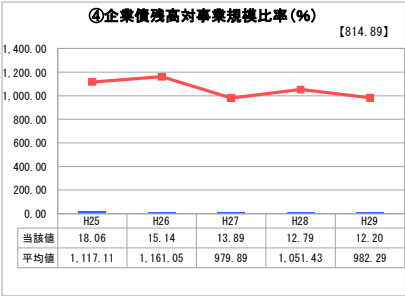
「単年度の収支」



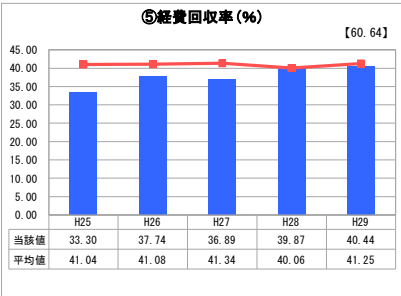
「累積欠損」



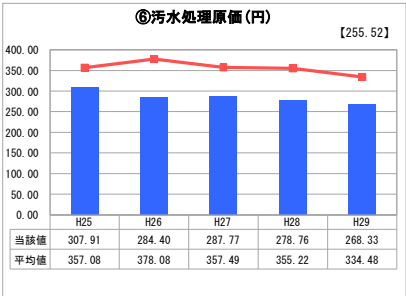
「支払能力」



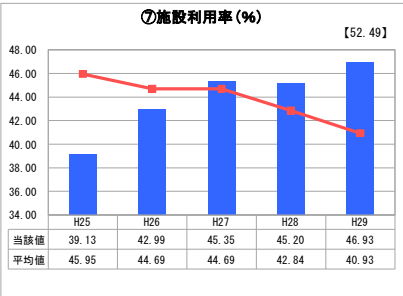
「債務残高」



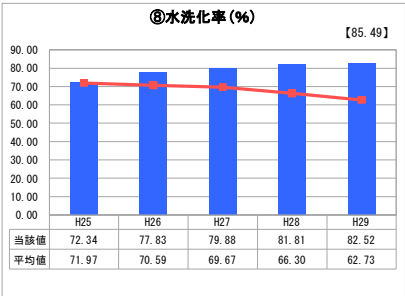
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

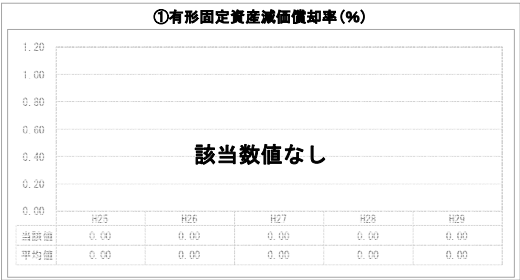


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

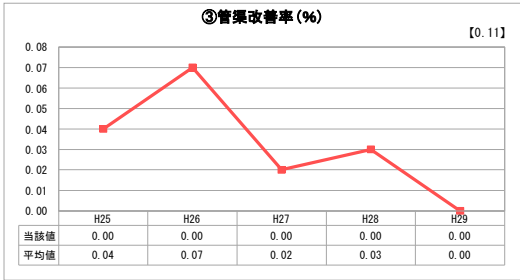
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
指標数値自体は低いものの、経年的に比較すると、ここ4箇年は上昇傾向にある。今後も一般会計からの繰入金に依存する現状は変わらないが、接続率の向上及び納期限内の確実な納付を促すことで、料金収入の増加に努める。

④企業債残高対事業規模比率
類似団体と比較すると、低い数値で推移している。毎年度の確実な償還によって、少しずつではあるが、減少傾向を示している。

⑤経費回収率
類似団体と比較すると、ほぼ水準の推移となっている。今後も接続率の向上及び納期限内の確実な納付を促すことで、回収率の向上に努める。

⑥汚水処理原価
類似団体と比較すると、やや低い状態を示す。維持管理のコスト削減という観点と、適切な施設規模で稼働させるため、接続率の向上に努める。

⑦施設利用率
類似団体と比較すると、高い数値を示し、上昇傾向にある。今後も接続率向上のため、適切な処理施設の管理に努める。

⑧水洗化率
類似団体と比較すると、高い数値で上昇傾向を示す。今後も高い数値を確保するため、更なる接続促進に努める。

2. 老朽化の状況について

市内2箇所にある農業集落排水処理施設（鴨田地区、石田本郷地区）が供用開始されたのは、それぞれ平成18年、同24年と比較的近年であるため、これまで管渠の更新は行っていない。

全体総括

今後、供用年数が経つに連れ、処理施設や管路の老朽化が進み、修繕費や維持管理費の増加が見込まれる。接続率の向上及び納期限内の確実な納付を促すといった業務を継続し、料金収入の確保に努める。

また、計画的かつ効率的に更新をしていくことを検討するとともに、これら費用を賄う財源の確保に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。